

放課後等デイサービス事業所での支援・活動のアイデア

「グループ活動」

放課後等デイサービスでは、年齢や障害種別、発達段階が異なる様々なお子さんがいらっしゃいます。人との関わりが苦手なお子さんや、ルールやマナーを理解することが苦手なお子さん、集団で遊ぶことが苦手なお子さんなど様々だと思います。そのような多様な支援ニーズに応じるためには、個々に合わせた活動を行っていく必要があるでしょう。

秩父学園では、共通の支援ニーズをもった子どもたちのグループを作って活動を提供しています。今回は、発達の支援ニーズに応じた「グループ活動」の例を紹介します。

社会性のスキルの習得を目的としたグループ

<メンバーの構成・特徴>

友達との適切な関わりやマナーの習得など、社会性のスキルの向上を主な目標とするお子さんのグループです。ゲームや子ども同士のやりとりを中心とした活動を行っています。

<活動の例>風船バレー

<ねらい>・ゲームのルールを理解する ・「あったかい言葉」と「チクチク言葉」について学ぶ ・友達と協力する

<準備物>「ルール」提示シート(図1)、「あったか・チクチク」提示シート(図2)、風船、得点表(ホワイトボード)、ビニールテープ

<活動の進め方>

- ①「ルール」提示シートで、ルールを説明する。
- ②「あったか言葉」と「チクチク言葉」を確認する。
- ③ゲームを実施する。
- ④ルールを守れたか、「あったか言葉」を使えたかについて振り返りを行う。



図1 「ルール」提示シート



図2 「あったか・チクチク」提示シート

友達との集団遊びの経験を目的としたグループ

<メンバーの構成・特徴>

集団遊びのルールや順番を理解することを主な目的としたグループです。遊びの設定を分かりやすくしたり、視覚教材を使用して、友達との集団遊びを経験できるようにしています。

<活動の例>すごろくゲーム

<ねらい>・簡単なルールを理解して遊ぶ ・順番を意識する

<準備物>すごろくマップ(図3)、コマ(顔写真付き)、サイコロ、お題カード(図4)、リマインダー(図5)、順番表

<活動の進め方>

①ルールを確認をする。

- ・サイコロの目の数だけコマを進める。
- ・★マークのマスで止まったら、お題カードを一枚引いて、お題に答える。
- ・他の人はお題に答えない。(リマインダー(図5)でお知らせする)

②順番を決める。 ③ゲームを実施する。



図3 すごろくマップ



図4 お題カード



図5
リマインダー

自立的に活動に参加することを目的としたグループ

<メンバーの構成・特徴>

自立的に活動へ参加することを主な目的としたグループです。視覚的な支援や環境設定を行い、活動内容をわかりやすくしています。

<活動の例> 汽車

<ねらい> ・音を聞いて自分で動きを判断する ・始まりと終わりを分かりやすくする(最初と最後に挨拶をする) ・自立的に活動に参加する。

<準備物> CD、CD プレーヤー、 汽車(図6)、線路(図7)、「歩く・走る・止まる」の視覚教材(図8)

<活動の進め方>

- ①始めの挨拶をする。
- ②ルールの説明をする。
 - ・「歩く」「走る」「止まる」のモデルを見せる。
 - ・線路の上を歩く。
- ③音楽に合わせて活動を行う。
- ④終わりの挨拶をする。



図6 汽車



図7線路



図8 視覚教材

活動に参加することの楽しさを経験することを目的としたグループ(個別活動)

<メンバーの構成・特徴>

遊びの取り組み方について学ぶことを主な目的としたグループです。大人とのやりとりや環境設定の支援を通して、遊び方を分かりやすく伝え、活動に参加することの楽しさを経験できるようにしています。

<活動の例> 輪投げ

<ねらい> ・大人と一緒に活動に取り組む ・活動のやり方を理解する

<準備物> 輪投げ、足型

<活動の進め方>

- ①スケジュールカードを見て、活動の場所に行く。
- ②足型の上に立つ。
- ③大人が一つずつ輪を渡して、輪投げに取り組む。
- ④取り組めたことを褒めて、次の活動に移る。



図9 活動の設定